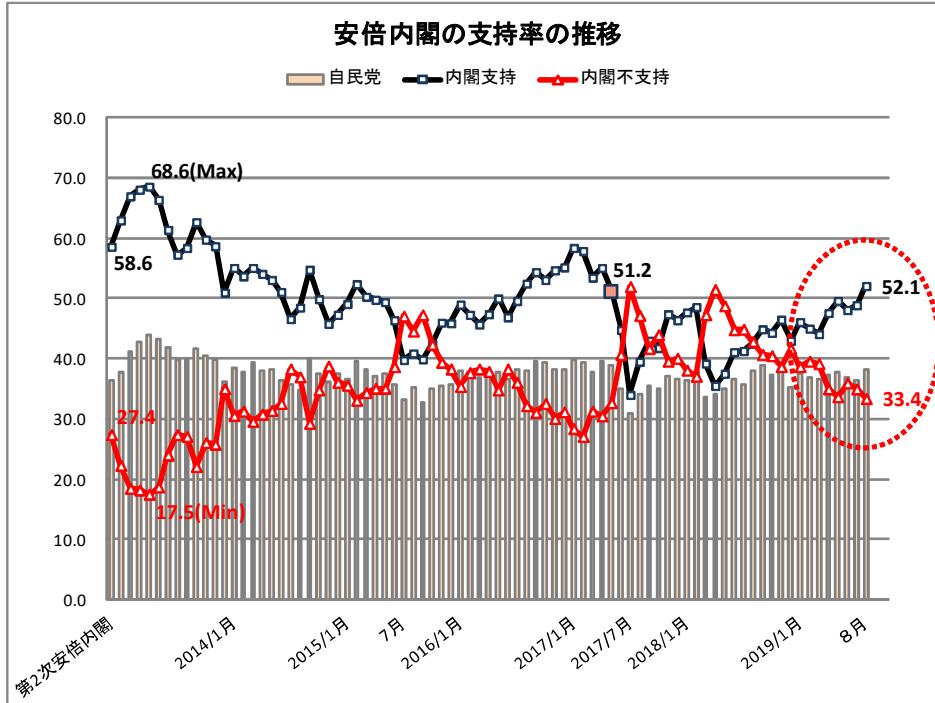


直近の世論調査から - 2019. 9. 6 (内閣支持率52.1%に…50%超は2年3カ月ぶり)

1. 内閣支持率52.1%に上昇…2年3カ月ぶりに50%超 (※朝日・毎日が調査実施せず参考値)

①参院選が終わって翌月となる8月の世論調査は、毎日と朝日の調査が実施されなかったため、参考



値として扱うことにする。その上で、安倍内閣の支持率は52.1%と前月比では3.2%増となった(不支持は33.4%。▼1.6%減)。

8社の支持率平均値の前月差を見てみると、前月よりは2.4%増となっていることから、仮に10社調査が揃ったとしても、その誤差は1%以内であろうと推測されるので、とりあえずはこのまま記録しておくことにする。

いずれにせよ、安倍内閣の支持率が50%を超えたのは、2017年5月の51.2%以来のことであり、2年3カ月ぶり。左図にあるように、それまでの

内閣支持率

8月	支持	前月差	不支持	前月差
日経9.2	58	6	33	-5
毎日				
読売8.26	58	5	30	-6
朝日				
共同8.20	50.3	2	34.6	-4
時事8.17	47.0	4	30.8	-0
NHK8.6	49	4	31	-2
JNN8.5	60.1	1	37.0	0
ANN8.20	48.1	2	32.4	-2
FNN8.6	46.6	-5	38.1	5
平均	52.1	2.4	33.4	-1.7
7月比	3.2		-1.6	

森友・加計問題に加えて、この頃からは6月共謀罪法成立、そして7月東京都知事選の大敗と、激しく支持率の乱高下を繰り返してきたことをあらためて想起する。どうか昨年9月に(支持率>不支持率)の状態に戻り、そして今回支持率50%超となった。

②しかし、安倍内閣支持の要素は、読売調査で経済政策を「評価する45%・評価しない39%」とあるものの、かつてのアベノミクスの神通力は衰え、景気実

感も「(せいぜい)横ばい」と見るのが55.6%と最多で、「下降気味」38.3%が次いでいる(FNN8.6)。

またFNNの毎月定例調査でも、安倍内閣を支持する理由では「人柄・指導力」という曖昧な属人的な要素に支えられていることが分かる。政策では「景気・経済対策」も「社会保障政策」もく支持は3割、不支持が5割となっている。ややマンネリ・ショー化したきらいのある安倍外交だけが<支持48.3%・不支持33.2%>と評価が高い。

このように、いまだ比較的高い支持率を維持している安倍首相だが、残りの任期については「今すぐに辞めてほしい」はさすがに13%と少ないが、任期終了時の「2021年9月まで」が最多の48%(ANN8.20)。「安倍四選」については<賛成30.4%・反対50.8%>

森友・加計問題に加えて、この頃からは6月共謀罪法成立、そして7月東京都知事選の大敗と、激しく支持率の乱高下

を繰り返してきたことをあらためて想起する。どうか昨年9月に(支持率>不支持率)の状態に戻り、そして今回支持率50%超となった。

②しかし、安倍内閣支持の要素は、読売調査で経済政策を「評価する45%・評価しない39%」とあるものの、かつてのアベノミクスの神通力は衰え、景気実

今の景気についての実感

FNN8.6 ①上向きだ 4.4
②横ばい 55.6 ③下降気味 38.3

安倍内閣の経済政策を評価するか

	評価する	評価しない
読売8.26	45	39

安倍内閣の外交・安保政策評価

	評価する	評価しない
読売8.26	54	31

FNN8.6 安倍内閣を支持する理由

首相の人柄		首相の指導力		景気・経済対策		社会保障政策		外交・安全保障	
支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持
56.4	28.6	52.0	31.5	32.0	50.2	28.3	52.0	48.3	33.2

安倍首相の任期について

ANN8.20 ①なるべく長く続けて 21
②2021年9月まで 48 ③任期中に辞めてほしい 11 ④すぐに辞めてほしい 13

党則を改正して安倍四選を可能に

	賛成	反対
時事8.17	27.7	49.5
JNN8.5	33	52
平均	30.4	50.8

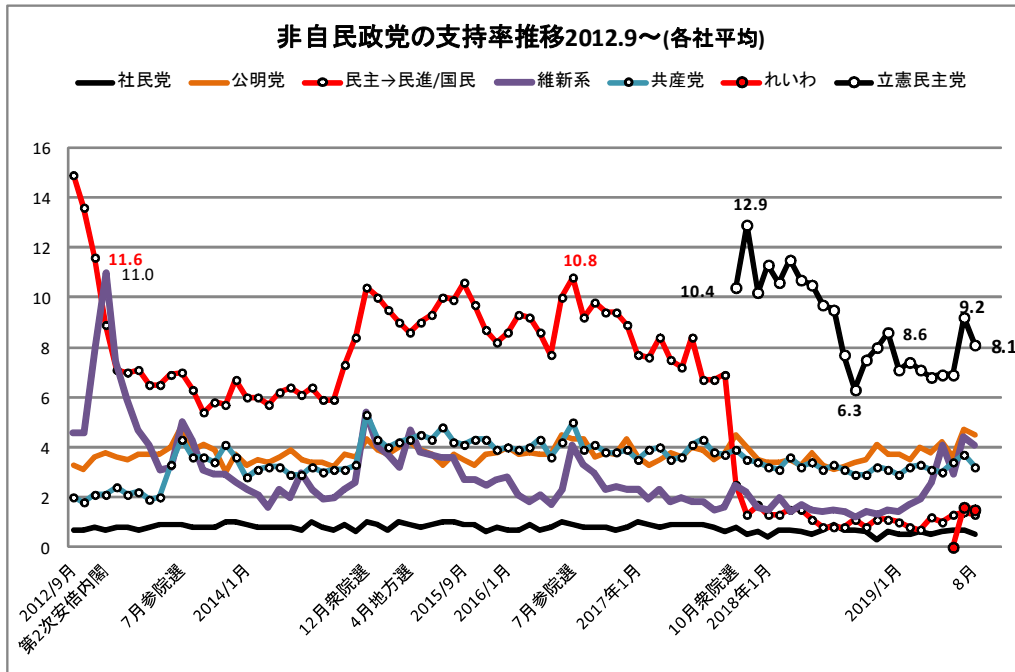
と、ほぼ頃合いの時期が意識されているようだ(2社平均)。

次の首相候補は、滝川クリステルとの結婚を首相官邸で発表した小泉進次郎(38歳)が圧倒的だ。歴代首相の史上最年少記録は、ご存知、初代の伊藤博文で44歳。安倍首相も52歳と若くして総理になったが、最年少記録まで小泉進次郎氏はまだ6年ある。9月11日の内閣改造の注目人事の一つだ。

次の首相は誰に？	
日経9.2	①小泉 29 ②安倍 18
	③石破 13 ④菅 6 ⑤河野 6
	⑥枝野 3 ⑦岸田/茂木/小淵 1
次の首相には誰が良いか	
ANN8.20	①小泉 27 ②石破 17
	③安倍 17 ④菅 6 ⑤河野 5
	⑥岸田 4 ⑦野田 3

2. 野党の支持率、ほぼ軒並み減に。れいわとN国は…。 埼玉知事選で見た野党共闘

③自民党の支持率も8月は38.1%で、前月比で+1.8%増。しかし野党はN国が0.9%で+0.4%増だったが、その他の党



が、その他の党は下表にあるように軒並み支持率を下げた。参院選挙で9.2%にまで上がった立憲も今回は8.1%(▼1.2%減)、注目のれいわは1.5%で前月1.6%から下げた(精確には7月1.55%、8月1.53%だからほぼ同値)。

れいわに対しては、今のところは全野党が今後の共闘対象として熱い視線を送っている

が、N国はほぼ無視されている。芸能人(マツコ・デラックスや爆笑問題の太田光など)とのトラブルを起こし、今度は「(竹島を)戦争で取り返すしかないんじゃないですか」とツイ

政党支持率

8月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	N国	支持なし
日経9.2	40	8	1	5	3	0	4	2	1	32
読売8.26	41	7	1	4	2	0	3	0	1	37
共同8.20	40.9	10.0	1.4	5.4	4.3	0.7	3.8	4.3	1.3	26.6
時事8.17	28.0	5.8	0.6	4.1	2.1	0.4	2.2	1.0	0.4	53.4
NHK8.6	36.1	7.2	1.5	4.0	3.0	0.8	3.8	1.2	0.2	34.8
JNN8.5	37.4	7.8	0.9	5.3	2.9	0.3	3.6	1.3	0.8	37.0
ANN8.20	44.3	10.0	2.1	3.9	4.5	1.0	5.4	0.8	0.9	26.0
FNN8.6	37.4	8.7	2.0	4.6	3.4	0.4	7.1	1.6	1.3	31.9
平均	38.1	8.1	1.3	4.5	3.2	0.5	4.1	1.5	0.9	34.8
7月平均	36.4	9.2	1.4	4.7	3.7	0.7	4.4	1.6	0.5	34.0
前月比	1.8	-1.2	-0.1	-0.2	-0.6	-0.2	-0.3	-0.0	0.4	0.9

ートした「懲りない」丸山穂高議員を「問題提起しているだけ」とかばうN国(立花党首)が、今後

れいわ参議の身障者二人の活躍に

	期待する	期待しない
FNN8.6	51.7	38.2

重度障害者の介護制度見直し

	必要だ	必要ない
ANN8.20	62	20

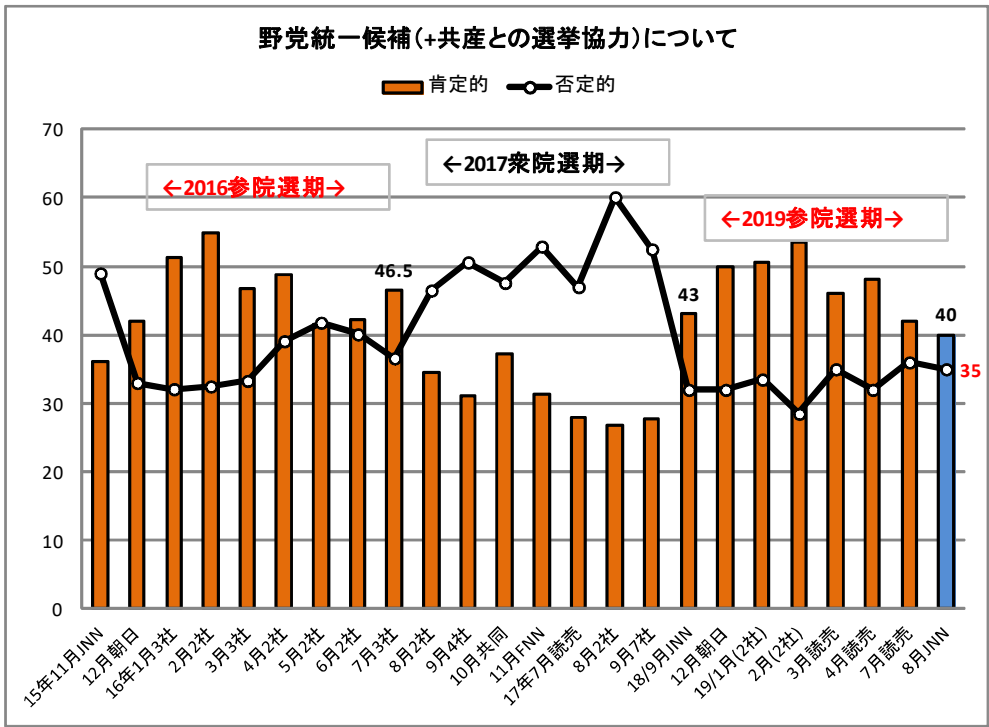
N国のワン・イシュー選挙について

	適切だ	そう思わない
FNN8.6	51.1	37.0

も勢いを拡げていくとは思われない。

世論調査でも、れいわの新人議員二人に対する期待は高く(FNNで51.7%)、その影響で重度障害者の介護制度見直しが必要だとする声は62%(ANN)。N国のような「ワン・イシュー選挙」について肯定的な声も51.1%あった(FNN)。

④参院選後の焦点となった埼玉知事選挙(8.25)は、維新とN国を除く野党が推した大野が、歴代の埼玉県知事選挙で最も僅差となる約6万票差(大野92万3482票、青島86万6021票)で初当選した。メディアも「まさかの青島敗北。野党共闘の成果」と評



じた。「安倍 1 強」に
対抗するには野党が
一本化するしかない
のは自明なのだが、
立憲民主党・枝野は参
院選での「れいわ新
選組」の躍進に強い
危機感を持ったよう
だ。参院選総括文書
では「政府与党に対
する明確な対抗イメ
ージをつくれなかつ
た」とし、野党結集
の「新しいステージ」
として旧民進党勢力
の再結集を図る決意
を固めたように見え
る(以前と違うのは最
右派だった細野・長島
らはいなくなった)。

今後の野党のあり方	立憲が国民との衆参院会派合流構想									
共同8.20 ①多くの野党で政権交代め ざす政党つくる 21.0 ②それぞれの党を 維持して協力して与党に対抗 36.7 ③政策ごとに是々非々対応 32.9	<table border="1"> <tr><th></th><th>評価する</th><th>評価しない</th></tr> <tr><td>共同8.20</td><td>30.2</td><td>50.3</td></tr> <tr><td>読売8.26</td><td>42</td><td>39</td></tr> </table>		評価する	評価しない	共同8.20	30.2	50.3	読売8.26	42	39
	評価する	評価しない								
共同8.20	30.2	50.3								
読売8.26	42	39								
日経9.2 ①各党は政権交代めざし 政党合流を 40 ②合流せず各党の 独自活動を 46	次期衆院選での野党統一候補									
次期衆院選挙での野党の連携は	<table border="1"> <tr><th></th><th>立てるべき</th><th>必要ない</th></tr> <tr><td>JNN8.5</td><td>40</td><td>35</td></tr> </table>		立てるべき	必要ない	JNN8.5	40	35			
	立てるべき	必要ない								
JNN8.5	40	35								
NHK8.6 ①続けるべき 27 ②続ける必要ない 19 ③どちらとも 44										

ただし世論調査では「立憲・国民
らの衆参院会派合流構想」については、
評価が定まっていない様子だ(共同
・読売では相反する反応)。「今後
の野党のあり方」については、共同
と日経などの調査があるが、共同は
「野党共闘が 36.7%、是々非々路線
が 32.9%、政権交代政党結成が
21.0%」、日経は「政党合流 40%、
各党独自活動 46%」と、焦点がどう

も定まらないだけでなく、「新政党結成」が選択肢に入っていることも微妙な情勢を反映している。
次期衆院選についての野党共闘については、NHK 調査(三択)では「続けるべき 27%・続ける必要
ない 19%・どちらとも 44%」とあいまいだ。「野党統一候補を立てるべきか」について聞いた JNN 調
査でも「肯定 40%・否定 35%」と、肯定派がやや上回っているものの、上図にあるよう、2016 年参院
選時からの凶柄を俯瞰してみると、世論は「野党のこれから」に対して様子見をしているような気配
がある。野党とくに立憲は、世論に対してインパクトのある姿勢と対応を示す必要があるだろう。

3. その他…憲法改正、消費税増税、日韓関係など

⑤安倍首相は参院選では、国民関心のもっとも薄い「憲法改正」にこだわる主張を展開してきたが(文

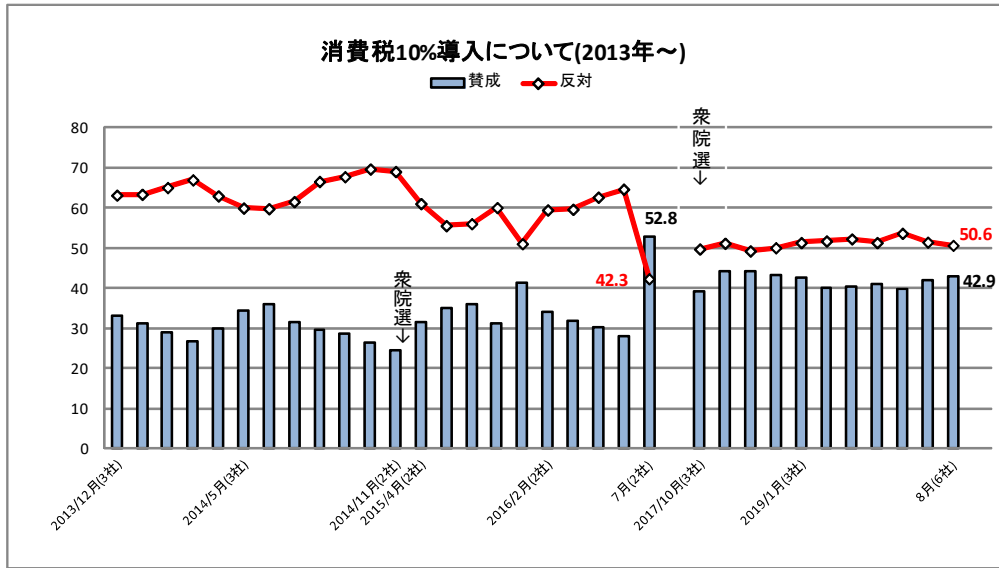
安倍首相の下での憲法改正	賛成	反対
共同8.20	35.5	52.2
時事8.17	32.1	41.3
どちら 26.7		
憲法改正の是非について	改正すべき	必要ない
JNN8.5	42	39
ANN8.20	42	39
平均	42.0	39.0

政党が国会で憲法改正論議の活発化	肯定的	否定的
FNN8.6	60.9	29.4
日経9.2	77	16
憲法9条の改正に	賛成	反対
ANN8.20	38	53
自民改憲案・9条に自衛隊明記に	賛成	反対
時事8.17	35.3	36.1

末調査項目一覧参照)、世論の反応はこ
れまでと変わらず冷静なようだ。一言
で言えば、世論は「憲法の国会論議を
行うこと」には肯定的だが、「安倍首相
政権下での憲法改正」は望んでいない。
「憲法改正についての是非」について
は今回は JNN、ANN ともやや改正派が
多くなっているが、この設問は、調査機
関、時期などによってブレがある。

憲法 9 条改正については、これまでも、だいたい、どの調査機関の調査でも反対派が多く、今回も
ANN 調査では<賛成 38%・反対 53%>だった。しかし「9 条 2 項を維持して自衛隊を明記する」と
言う聞き方になると、これまた調査機関と時期とによってバラツキが出るものだ。

⑥消費増税も10月実施を前後に混乱することが予想されている。8月に実施された調査では、10%への増税には賛成42.9%・反対50.6%と、これまで変わらぬ傾向が確認された(6社平均)。



への増税には賛成42.9%・反対50.6%と、これまで変わらぬ傾向が確認された(6社平均)。

以前にも説明しているが「消費税10%への増税」については、2013年12月の調査以来、6年近く、左図のように世論の反対姿勢は明瞭だった。1回限りの逆転は、ご存知の通り、前回2016年7月参院選時に首相が「10%

今年10月に消費税10%にUP(賛否)

	賛成	反対
FNN8.6	41.2	54.1
JNN8.5	41	52
ANN8.20	39	53
共同8.20	43.3	51.3
読売8.26	44	49
日経9.2	49	44
平均	42.9	50.6

増税延期」を表明した時だけだ。10月増税実施後も、立憲は「8%に戻す法案を検討する」と表明しているし、「5%に引き下げる」とするれいわ新撰組を含めた野党共闘が、どう展開されるのか興味あるところだ。

⑦8月の世論調査では、他には日韓問題をめぐるテーマが多かった。識者からも最近の嫌韓・嫌中感情、ナショナリズムを煽るかのようなテレビ報道や週刊誌に対する警告と指摘がされている。

トランプの提唱する「ホルムズ海峡の有志連合への参加呼びかけ」(自衛隊派遣を含む)については、8月初めのFNN、JNNは賛成派が多かったが、後半の調査(3社)では反対派が多くなっていることが特徴的だ。

【その他の調査項目一覧】-----

投票率が過去二番目に低かった理由

NHK8.6	①政治への無関心 36
	②政治は変わらない 27 ③争点がなかった 13 ④投票したい候補・党がない 9
	⑤現状のままで良い 8

参院選の結果について

	満足してる	満足してない
JNN8.5	48	37

参院選で与党勝利・立憲躍進・新党

	良かった	良くない
FNN8.6	53.7	32.6

参院選で改憲勢力が2/3に届かず

	良かった	良くない
FNN8.6	50.9	33.4
JNN8.5	42	34
平均	46.5	33.7

あおり運転に対する罰則強化について

	厳しくすべき	そう思わない
読売8.26	95	3

東京パラ・五輪への関心はあるか

	関心ある	関心ない
NHK8.6	69	26

韓国をホワイト国から除外したこと

	支持する	支持しない
FNN8.6	67.6	19.4
JNN8.5	64	18
ANN8.20	59	21
読売8.26	65	23
日経9.2	67	19
平均	64.5	20.1

今後の日韓関係について

	心配だ	心配でない
FNN8.6	58.5	36.0
共同8.20	62.4	32.4
平均	60.5	34.2

韓国はGSOMIA協定を破棄したが

	理解できる	理解できない
読売8.26	10	83

日韓は安全保障で連携する必要がある

	必要ある	必要ない
読売8.26	72	19

今後の日韓関係についてあなたは

読売8.26	①関係改善のため日本が歩み寄るべき 29	②関係改善がなくてもやむをえない 64
日経9.2	①改善のため譲歩も必要 21	②譲歩するなら改善は必要ない 67

政府が重視すべき政策

JNN8.5	①年金・医療と社会保障 62
	②景気と雇用 44 ③少子高齢化・子育て 41
	④消費税増税 28 ⑤外交・安全保障 24
	⑥教育改革 19 ⑦原発エネルギー 9
	⑧9憲法改正 8 ⑨地方分権・行革 7
日経9.2	①社会保障 46
	②景気回復 41 ③外交安全保障 35
	④財政再建/教育の充実 28
	⑥憲法改正/政治・行政改革 14

ホルムズ海峡の有志連合(自衛隊派遣)

	参加すべき	すべきでない
FNN8.6	49.7	28.6
JNN8.5	41	35
ANN8.20	32	49
共同8.20	28.2	57.1
読売8.26	37	50
平均	37.6	43.9

日米首脳会談で牛豚肉関税下げ合意

	評価する	評価しない
日経9.2	55	32

北朝鮮のミサイル発射で不安は

	感じる	感じない
JNN8.5	80	19

☆これまでのデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用してください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)